#### 『まるごと』教師養成講座

MARUGOTO

# JF日本語教育スタンダード

「まるごと 日本のことばと文化」

日本のことばと文化

2018年1月8日(月) 13:30-15:30/19:00-21:00 (独) 国際交流基金サンパウロ日本文化センター 吉岡千里(よしおか ちさと) yoshioka@fjsp.org.br

# 今日の流れ

- はじめに(目標)
- JF日本語教育スタンダードの概要
- ・『まるごと』の理念と特徴
- おわりに(評価)
- ・ふりかえり

## はじめに(目標)

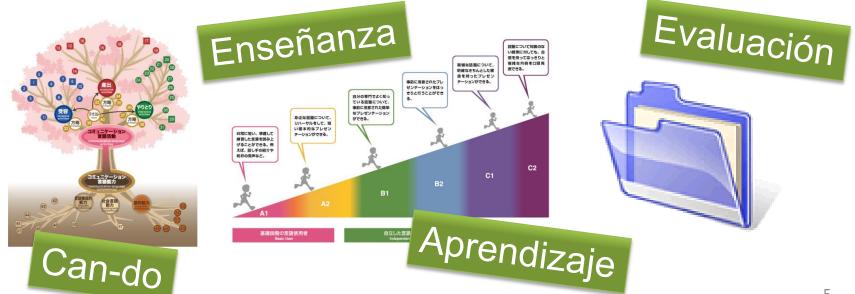
i. JF日本語教育スタンダード(JFS)の概要に ついて、説明することができる。

ii. 『まるごと 日本のことばと文化』の理念と特 徴について、説明することができる。

iii. JFSと『まるごと』の関係について、説明する ことができる。

# 「JF日本語教育スタンダード」 概要

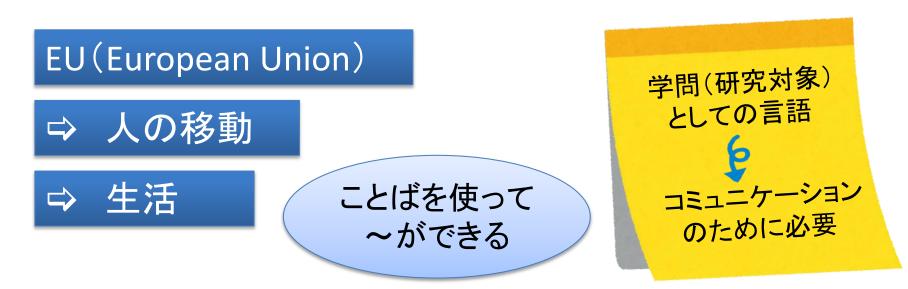
- ペアまたはグループで、「JF日本語教育スタ ンダード」について自分たちが知っていること を話しましょう。
- どんなキーワードが出てきましたか。



- JF日本語教育スタンダード(以下、JFスタンダード)は、日本語の教え方、学び方、学習成果の評価のし方を考えるためのツールです。
- JFスタンダードを使うことによって、日本語で何がどれだけできるかという熟達度がわかります。また、コースデザイン、教材開発、試験作成などにも活用できます。

https://jfstandard.jp/summary/ja/render.doより

 ヨーロッパの言語教育の基盤である CEFR(Common European Framework of Reference for Languages)を参考に作られた。



☆MCER : Marco Comum Europeu de Referência para as Línguas

価値観の多様化、人と人との接触・交流の拡大 ⇒人間同士の相互理解の重要性が高まっている

### 理念

### 「相互理解のための日本語」

El japonés para el entendimiento mutuo

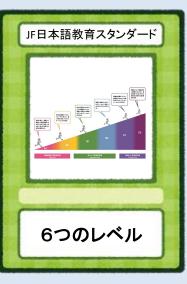
- 課題遂行能力 Capacidad de realización de tareas 言語を使って何がどのようにできるか
- 異文化理解能力 Competencia intercultural お互いの文化を理解し尊重する能力

学習者、教師、 日本語使用者 のため 共通基盤

## 相互理解のための日本語

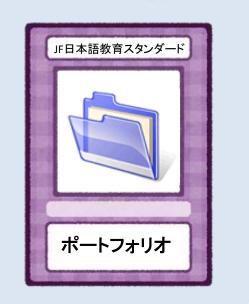
#### 課題遂行能力







#### 異文化理解能力





JFスタンダードの木



# JFスタンダードの木

言語によるコミュニケーション

#### コミュニケーション言語活動

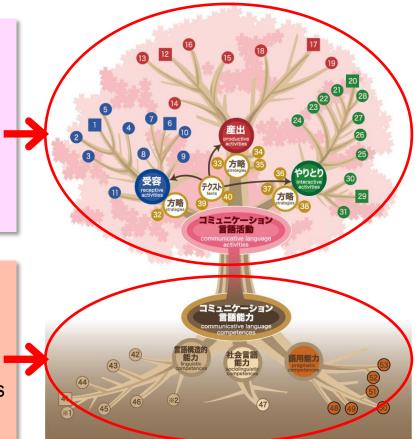
actividades comunicativas de la lengua

- 受容的活動(読む、聞く)
- 産出活動(一人で話す、書く)
- やりとり
- -\*仲介活動(mediación)

#### コミュニケーション言語能力

Competencias comunicativas de la lengua

- 言語構造的能力 competencias lingüísticas
- 社会言語能力 competencias sociolingüísticas
- 語用能力 competencias pragmáticas





# 考えてみよう(1)

- ・木のどの部分ですか?「活動」?「能力」?
  - ✓自己紹介ができる。
  - ✓駅のアナウンスを聞いてわかる。
  - ✓「て形」が作れる。
  - ✓日本人の同僚と休み時間におしゃべりする。
  - ✓話す相手によって、話し方を使いわけられる。
  - ✓マンガを読んでわかる。
  - ✓「桜」という漢字を知っている。



# 考えてみよう②

- 学習者のニーズ・目的 言語活動
  - ① 日本人の友達と趣味について話したい。
  - ② 日本人の友達のFacebookの投稿が理解したい。
  - ③ 自分の国を日本語で紹介する動画を作りたい。
  - ④ 日本のアニメを字幕なしで見て、理解したい。

## 「活動」のために、必要な「能力」を考える。

#### 学習目標が明確になると・・・

- → 学習内容(語彙、文法、表現など)が決まる
- → 学習成果がとらえやすくなる





• 言語熟達度

A: 基礎段階の言語使用者

B: 自立した言語使用者

C: 熟達した言語使用者



- 日本語の熟達度はCan-doで示されている。
- そのレベルの熟達度がどのようなものか、レベルが変わると何ができるようになるか理解することができる。



#### 言語活動: 「講演やプレゼンテーションをする」

C2	話題について知識のない聴衆に対しても、自信を持ってはっきりと 複雑な内容を口頭発表できる。
C1	複雑な話題について、明確なきちんとした構造を持ったプレゼン テーションができる。
B2	事前に用意されたプレゼンテーションをはっきりと行うことができる。
B1	自分の専門でよく知っている話題について、事前に用意された簡 単なプレゼンテーションができる。
A2	身近な話題について、リハーサルをして、短い基本的なプレゼン テーションができる。
A1	非常に短い、準備して練習した言葉を読み上げることができる。た とえば、話し手の紹介や乾杯の発声など。



- それぞれのレベルのおおまかなレベルイメージをつかむのには「CEFR共通参照レベル:全体的な尺度」が便利です。
  - ⇒見てみましょう!

# 共通参照レベル:全体的な尺度

Niveles de referencia communes: escala global

No.	能力記述	A1-C2
1	<ul> <li>◆ 仕事、学校、娯楽で普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば、主要点を理解できる。</li> <li>◆ その言葉が話されている地域を旅行しているときにおこりそうな、たいていの事態に対処することができる。</li> <li>◆ 身近で個人的にも関心のある話題について単純な方法で結びつけられた、脈絡のあるテクストを作ることができる。経験、出来事、夢、希望、野心を説明し、意見や計画の理由、説明を短く述べることができる。</li> </ul>	
2	<ul> <li>ごく基本的な個人的情報や家族情報、買い物、近所、仕事など、直接的関係がある領域に関する、よく使われる文や表現が理解できる。</li> <li>簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄についての情報交換に応ずることができる。</li> <li>自分の背景や身の回りの状況や、直接的な必要性のある領域の事柄を簡単な言葉で説明できる。</li> </ul>	
3	<ul><li>● 聞いたり、読んだりしたほぼすべてのものを容易に理解することができる。</li><li>● いろいろな話し言葉や書き言葉から得た情報をまとめ、根拠も論点も一貫した方法で再構成できる。自然に、流暢かつ 正確に自己表現ができ、非常に複雑な状況でも細かい意味の違い、区別を表現できる。</li></ul>	
4	<ul><li>● 自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的かつ具体的な話題の複雑なテクストの主要な内容を理解できる。</li><li>● お互いに緊張しないで母語話者とやり取りができるくらい流暢かつ自然である。</li><li>● かなり広範な範囲の話題について、明確で詳細なテクストを作ることができ、さまざまな選択肢について長所や短所を示しながら自己の視点を説明できる。</li></ul>	
5	<ul> <li>具体的な欲求を満足させるため、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。</li> <li>自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。</li> <li>もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。</li> </ul>	
6	<ul> <li>いろいろな種類の高度な内容のかなり長いテクストを理解することができ、含意を把握できる。言葉を探しているという 印象を与えずに、流暢に、また自然に自己表現ができる。</li> <li>社会的、学問的、職業上の目的に応じた、柔軟な、しかも効果的な言葉遣いができる。</li> <li>複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の、詳細なテクストを作ることができる。そのさいテクストを構成する軸 や接続表現、結束表現の用法をマスターしていることがうかがえる。</li> </ul>	



それぞれのレベルのおおまかなレベルイメージをつかむのには「CEFR共通参照レベル:全体的な尺度」が便利です。

- 学習者の技能別のレベルを確認するときには、「CEFR共通参照レベル:自己評価表」が参考になります。
  - ⇒見てみましょう!



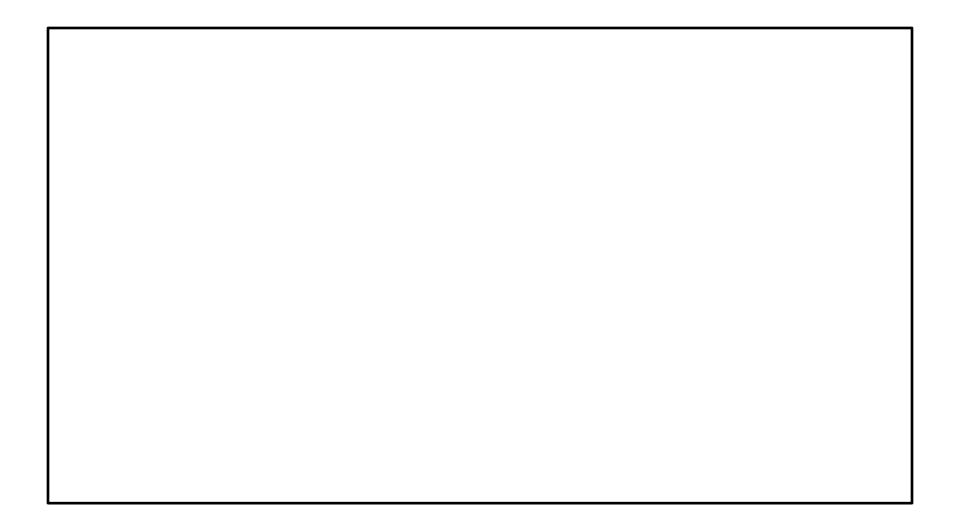
# 共通参照レベル: 自己評価表

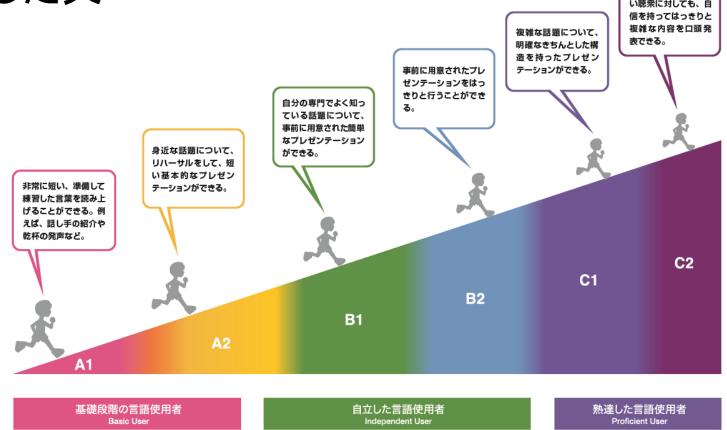
Niveles comunes de referencia: cuadro de autoevaluación

		<b>A1</b>	A2	B1	B2	<b>C</b> 1	C2	
DER	Comprensión auditiva							
COMPRENDER	Comprensión Col de lectura	あなたは、日本語/スペイン語(またはその) ほかの外国語)でどんなことができるか考えてみましょう。						
HABLAR	Interacción oral			表でどん	なことが	うかりま	ますか。 とすか。	
H	Expresión oral	この自己評価表でどんなことがわかりますか。どんなことに使えそうですか。						
ESCRIBIR	Expresión escrita							



# 「Can-do」ってなに?









CEFR Can-do

JF Can-do





https://jfstandard.jp/cando

#### 言語活動を例示するCan-do

**≥** 活動 活動Can-do 受容 (理解する) 産出(表現する) 相互行為(やりとりする) ○ 話しことば ●書きことば ③ 話しことば ●書きことば ② 話しことば ⊘書きことば □□頭でのやりとり □ 文書でのやりとり ■聞くこと全般 ■ 読むこと全般 ■ 話すこと全般 ■書くこと全般 全般 全般 □母語話者同士の ■ 手紙やメールを読 □ 経験や物語を語 □ 母語話者とやりと □ 手紙やメールの □ 作文を書く 会話を聞く る りをする やりとりをする 申請書類や伝言 □ 講演やプレゼンテ □ 必要な情報を探し □レポートや記事を □ 社交的なやりとり □ 論述する ーションを聞く をする を書く ■ 指示やアナウンス ■ 情報や要点を読 □ 公共アナウンスを □ インフォーマルな場面 を聞く み取る する でやりとりをする □ 音声メディアを聞 □ 説明を読む ■ 講演やプレゼンテ □フォーマルな場面 ーションをする で議論する ■共同作業中にや 視聴覚 りとりをする □ テレビや映画を見る □店や公共機関で やりとりをする ■ 情報交換する □インタビューする /受ける 方略Can-do 「方略(ストラテジー) 受容 (理解する) 産出(表現する) 相互行為(やりとりする) ■ 意図を推測する ■表現方法を考える ■ 発言権を取る(ターン・テイキング) ■ (表現できないことを)他の方法で補う ■議論の展開に協力する ■ 自分の発話をモニターする □ 説明を求める テクストCan-do 目 テクスト ■ メモやノートを取る 要約したり書き写したりする

# https://jfstandard.jp/cando

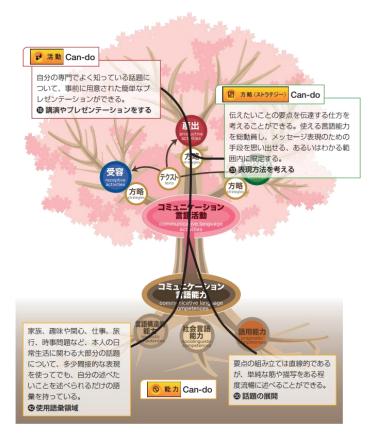
#### 言語能力を例示するCan-do

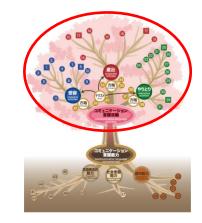
能力Can-do





活動Can-do、能力Can-do、テクストCan-do、方
 略Can-doは関連し合っている。





#### <活動Can-doの構造>

条件 + 話題・場面 + 対象 + 行動

A2 と B1 の受容 **1** テレビや映画を見るに関する Can-do

条件 対象 行動 +話題・場面 +インタビュー、 話し方が比較的 本人の関心事で 内容をおおかた **B1** 短い講演、ニュース ゆっくりと、 ある話題について 理解できる はっきりとして レポートなど いれば 多くのテレビ番組の 映像が実況の 出来事や事故を テレビのニュース 要点がわかる A2 ほとんどを説明し 伝える 番組の +てくれるならば

- <利用方法>
- ・ 学習目標の設定
- ・ 学習成果の評価
- 自分の現場に合ったCan-doを作る。⇒My Can-doを作る

『JF日本語教育スタンダード【新版】利用者ガイドブック』p51

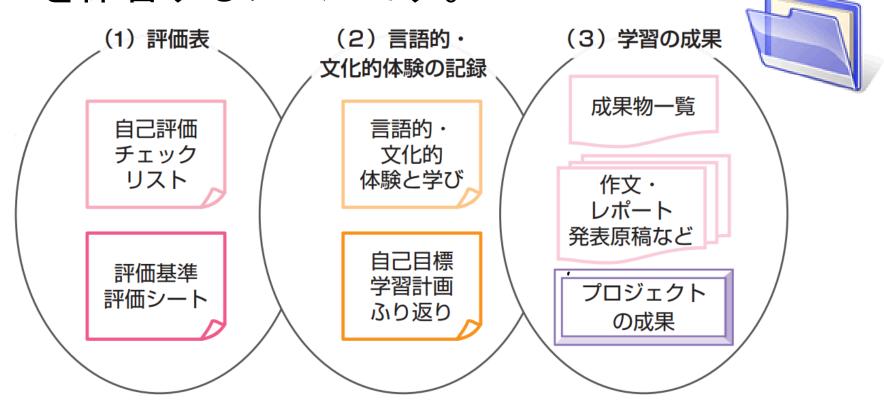
• 「みんなのCan-doサイト」

https://jfstandard.jp/cando/



# ポートフォリオ

学習者が自分の学習をふり返るための資料 を保管するツールです。



# ポートフォリオ

#### <利点>

- ・ 教師と学習者が学習目標と学習の過程を共有できる。
- 学習者がほかの教育機関に移動したときにそれまで の学習成果を正確に伝えることができます。
- 学習者が自己評価や体験を記録することで、課題遂行能力や異文化理解能力だけでなく、自律的学習能力や学習の動機づけを高めることができる。
- 日本語能力だけでなく、教室の中や外で学んださま ざまな知識や技能の学習効果の評価も行うことがで きる。

トップページ

JFスタンダードとは

みんなの 「Can-do」サイト まるごと日本の ことばと文化 JFS準拠 ロールプレイテスト

活用事例

資料

#### JF日本語教育スタンダード

JF Standard for Japanese-Language Education

JF日本語教育スタンダードは、 日本語の教え方、学び方、学習成果の 評価のし方を考えるためのツールです。





JF日本語教育 スタンダードとは



JF日本語教育 スタンダード活用事例



まるごと 日本のことばと文化



みんなの「Can-do」 サイトとは



JF日本語教育 スタンダード資料



JF日本語教育 スタンダード準拠 ロールプレイテスト

# 「まるごと 日本のことばと文化」 理念と特徴

# 事前課題

• チェックしましょう!	

# 『まるごと 日本のことばと文化』

・ 理念: 相互理解の日本語

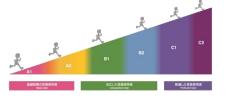
『まるごと』では、**相互理解**とは相手の存在を認め、配慮を持って他者に日本語で働きかけることで実現すると考えている。



# 『まるごと 日本のことばと文化』

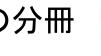
• 特徴: 海外の成人日本語学習者対象

JF日本語教育スタンダード準拠





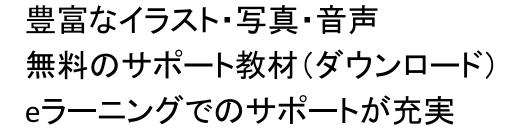
レベルは入門(A1)~中級(B1) 9冊 入門·初級は「かつどう編」「りかい編」の分冊



課題遂行型の言語学習デザイン いろいろなトピックで日本文化を学ぶ



学習の自己管理(自己評価、ポートフォリオ)



# 課題遂行型

### ・文型積み上げ式

- ポイント: やさしい文型から難しい文型
- 学習内容: 文型を学ぶために必要な語い、文型
- いつか役立つことを学ぶ(Just in case) なかなか話せる

## 課題遂行型

- ポイント: 課題が達成できるかどうか
- 学習内容: 課題達成に必要な語い、表現
- すぐに役立つことを学ぶ(Just in time)

相互理解の実現には、どちらがより有効な手段?

# 考えてみましょう

『まるごと』はJF日本語教育スタンダード準拠と言われています。どんなところがそう言えると思いますか?

# おわりに(評価)

i. JF日本語教育スタンダード(JFS)の概要に ついて、説明することができる。

ii. 『まるごと 日本のことばと文化』の理念と特 徴について、説明することができる。

iii. JFSと『まるごと』の関係について、説明する ことができる。

# ふりかえり

新しくわかったこと、まだよくわからないこと、 これから自分の授業や学習に生かせそうなこ とはありましたか?



となりの人と共有しましょう。

# 参考

- JF日本語教育スタンダード http://jfstandard.jp/
- Marco Comum Europeu de Referência para as Línguas <u>https://cvc.cervantes.es/ensenanza/biblioteca\_ele/marco/cvc\_mer.pdf</u>
- Common European Framework of Reference for Languages <a href="https://www.coe.int/t/dg4/linguistic/source/framework\_en.pdf">https://www.coe.int/t/dg4/linguistic/source/framework\_en.pdf</a>
- まるごとサイト https://www.marugoto.org/